



三多摩エリア  
分会

## 年末手当を求める職場の声 ①

- ◇人員削減、窓口大幅縮小により負担増、現場の社員の努力で増収している。「出す時は出す」の有言実行で満額回答を期待している。
- ◇未来が未踏せずに、会社を辞めていく有望な人材が多く、また魅力ない会社のため、新規採用者も減少し、要員が逼迫している中、日々の業務に励み、現場から安全・安定輸送を支えている。その正当な対価として年末手当の満額支給をするべきだ！！
- ◇数字ばかり見てる幹部の皆様。我々は数字で結果を出してきています。目標は達成しました。そしたら君達は目標を水準にすり替えてきました。どこまで我々を騙すのでしょうか？相変わらず有利子負債を創り、未来のない投資にひた走るJR東日本に愛着想かした者は去りました。限りある人材で必死に頑張っている社員達が貴方の足元に沢山います。踏みにじる行為をいつまで続けるつもりだ。本当にいい加減にしてください。
- ◇当社ではコロナに伴い窓口の営業時間短縮、人員削減を実施した中で2019年度の売り上げに近い水準まで戻した。これは社員一人一人の売上高が上がった事、さらに会社としてコスト削減を行った中、2019年度以前の売り上げ近くまで戻したのは社員が以前より働いた結果なのではないのか？ならば、それ相応の報酬を社員に給与してモチベーションを上げるのが社員の幸福につながるのでは？
- ◇黒字化に向けた現場社員の努力と成果、要員減少、窓口閉鎖等による負担増、ジョブローションを始めとした施策への対応、協力など社員の奮闘に目を向け真つ当な判断をし、社員に還元するべきだ！！
- ◇変革のスピードアップに反して、職場では人手不足により一人ひとりがこなさなければならない業務が増す一方。私たちは苦しみながらも日々奮闘し、新しい会社づくりを担っています。それなのに会社幹部、いやこの会社は一体どの方向へ変革しているのかがよく分かりません。世間相場を見ても依然続く物価上昇や人手不足で国内企業・団体のモチベーションは上がらないままです。だから今こそ年末手当、その後の春闘などで真意を見せなければ、本当の幸福にはつながりません。皆さんの未来のために。
- ◇日々安全安定輸送を守り、激しい環境変化や厳しい要員の中、必死に働いてきた全ての社員の努力による黒字達成には当然満額回答で応えるべき！！
- ◇増収に尽力し、黒字化したのは私たちの努力の賜物だ！ 満額回答で会社の誠意を見せろ！

②へつづく。

## 本部交渉団と共に職場から声を上げよう!!